



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 8 月 30 日(金)  
出前講座でろうそくづくり 編

いつもお世話になっている北部市民活動サポートセンターの青柳さんから連絡をいただき、身近なエコに関する講話の依頼がありました。のしろ白神ネットワーク主催のまち灯りで使用する廃食油のろうそく作りを、実際に体験しながら身近な環境を考える体験学習を向能代小学校で行いたいとのことでした。

これまで小学校での授業はお引き受けしたことがなく、私にとっては初体験。感性豊かな子どもへの影響力を考えると不安でいっぱい……。でも、のしろ白神ネットワークが子供たちへの環境教育に取り組んでいることを知っていただくべきではないかと思い、お引き受けすることにしました。

この授業では、環境活動の第一人者、高橋陽子会長のコンポスト見直し隊も一緒に講話をすることになり、二つの団体の活動を紹介しながら、子供たちに学んでもらうものです。現在の 5 年生は総合活動の授業の中で、班ごとにテーマを決め自分たちに何ができるかを考えてきました。例として①ゴミについて②水質③CO2(アイドリング)④温暖化⑤エコ家計簿⑥森林について

向能代地区は生活排水も完全ではなく、米代川に直接流出しているところが多く、環境改善を積極的に実践する必要があるようです。私は「廃食油からろうそくを作ろう」と題し、

- 自分達で手軽にできるエコ活動。
- みんなで楽しく、地球を守ろう

というコンセプトで説明を開始。

まち灯りは木と環境にこだわっていること、エコバスは廃食油をリサイクルして作られ、BDF 燃料に生まれ変わることを説明しましたが、まち灯りを知っている生徒さんは 2 人ほどしかいなくて、ビックリ、ガックリ！知名度はまだまだを痛感しました。



青柳さんの開会で講座が始まりました。



生徒にも先生にもろうそくづくりを体験していただきました。この灯りを見にまち灯りにもおいで下さいね。



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

説明終了後、生徒持参の廃食用油と先生がスーパーからもらってきて下さったものを利用し、並んで順番にろうそくを作りました。固まったろうそくを見て、みんな大喜び。全員そろったら火を付け、みんなで拍手（パチパチパチ）。完成した廃食用油ろうそくは 9 月の宿泊体験のキャンプファイヤーで使ってもらうことにしました。

次はコンポスト見直し隊の高橋さん。ダンボール箱で作る生ごみの堆肥の説明を受け、みんな真剣に受講。いろいろな質問が飛び交い、さすがは 5 年生！！と感心しました。みんな明るく活発な生徒さんばかりで、ビックリ！質問が高度なので答えられるかドキドキ。それも修行だと思い頑張りました。

慣れないことをしたもので、緊張しっぱなしで帰宅してぐったり。みんな分かってくれたかな～と心配していたら、向能代小学校から感想文が入った封筒が届き、「楽しかった」「またやってみたい」等の嬉しい内容に安堵しました。

その後、担当の鎌田先生から宿泊体験で実践したろうそく点火の写真を送っていただき、子供たちの様子も拝見し、感激でした。パワーポイントの資料を作ったり、無い知恵を絞ったりと準備は大変ですが、「楽しい」と言ってくれる子どもたちの笑顔を見ると疲れが吹っ飛んでしまいます。実にめでたい性格だと思い、我ながら呆れますが、これからも NW の活動を続けて行きたいと思うのです。

来年 2 月の「のしろまち灯り・冬」に向能代小学校の 5 年生が一人でも多く、遊びに来てくれることを願うばかりです。

文： 能登 祐子



良い堆肥づくりのノウハウやその使い方など高橋さんの説明はとても分かりやすく、勉強になります。



みな熱心に聞いてくれていたので、質問タイムには次々と手があがります。



宿泊体験の写真を送っていただきました。こんなふうに活用していただけると嬉しいです。